第二回 大の会 番組

令和三年 六月十三日(日)十四時始
於 大槻能楽堂

仕舞

(14時15分頃)
兼平 武田 宗典
蝉丸 今村 哲朗
船弁慶 武田 祥照
松風 大槻 文藏
鞍馬天狗 山階彌右衛門

(地謡) 山中 雅志 武富 康之 大西 礼久 井戸 良祐

(地謡) 武田 祥照 井戸 和男 上野 朝義 梅若 基徳

(14時25分頃) 解説 武田 宗典

舞囃子

(14時40分頃)
熊野 観世 清和
村雨留

(大鼓) 山本 哲也
(小鼓) 成田 達志
(笛) 杉 市和

(14時55分頃)
武田 宗典
梅若 基徳
吉井 基晴
山階彌右衛門
上野 朝義

休憩15分

能

(15時10分頃)
(老人 融大臣) 林本 大

融

舞返之伝

(旅僧) 福王 知登
間(所ノ者) 小笠原 由祠

(大鼓) 山本 哲也
(小鼓) 成田 達志
(笛) 斉藤 敦
(太鼓) 中田 弘美

武富 康之
(後見) 大槻 文藏
山本 博通

大槻 裕一 大西 礼久
今村 哲朗 吉井 基晴
山中 雅志 山階彌右衛門
井戸 良祐 梅若 猶義

(終了予定16時30分頃)

融

舞返之伝 とおる まいがえしのでん

源融は、嵯峨天皇の十二番目の男子で、「光源氏」のモデルとなった一人と言われています。

藤原家が栄華を誇っていた時代、政権争いに負けた源融は六条河原(現在の京都河原町五条辺り)の大邸宅や、宇治に別荘(のちの平等院)を建てるなど、その余生は風雅を尽くして過ごしました。

陸奥の塩竈に興味を持っていた融は、六条河原に「陸奥の千賀の塩竈」を模したものを建て、大阪から海水を汲み運び、そこで海水を焼く風情を鑑賞し楽しんだようです。

しかし融亡き後、それを相続する跡取りもいなかったため、六条河原院も塩竈も荒れ果てすっかり寂れてしまいました。

本日の能「融」の物語は、ここから始まります・・・。

未曾有のコロナ感染危機により、世界中の人々の生活が不安に陥りました。我々芸能に携わる者も昨年より舞台の延期や中止を余儀なくされました。

「第二回 大の会」も昨年は断念せざるを得ませんでしたが、この度振替公演として行わせていただく機会を頂戴致しました。

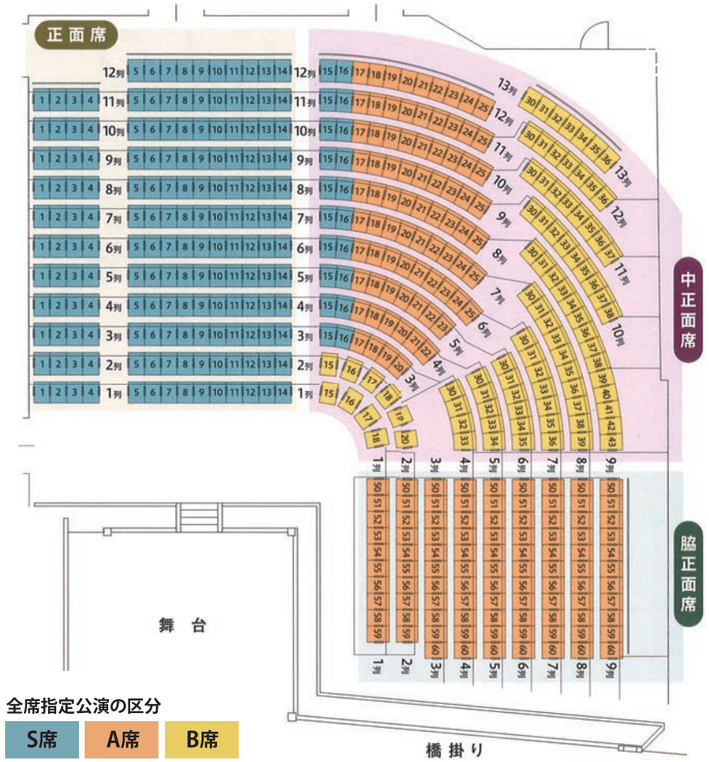
皆様からのご厚意にお応えできるよう、精一杯勤めて参ります。是非御高覧の程お願い申し上げます。

林本 大

林本 大 Hayashimoto Dai

昭和５２年生。能楽師観世流シテ方。公益社団法人能楽協会会員。
能meets代表。十二世山階彌右衛門師に師事。
主な開曲「千歳」「石橋」「乱」「道成寺」「望月」など。

・大阪・奈良・佐賀・徳島・東京で謡曲仕舞教室「大声会」を開催。
・佐賀県唐津市にて「呼子こども能教室」「唐KARAコンサート」「能をYOBUKO」を企画。
・大阪では「和のいろは」を企画し他分野との交流により日本文化の普及を目指す。
　また平成３０年より能・文楽・茶道・落語・講談・浪曲の若 手演者とのユニット「霜(そう)乃会」を結成。
・海外公演はベルギー・チュニジア・ブルガリア・上海等。
・小中学校始め高校や大学の講師を勤め文化教育に力を注ぐ。
・舞台出演だけでなく、各地にて講演を行い、「初心者にも伝わる能」を目指して活動中。お寺やホテルのロビーなどでライブ活動も展開。
　企業向けの研修事業でも多数講演 を行う。
・平成30年自身の芸道研鑽の為の自主公演「大の会」を立ち上げ、「本格的な能公演」を 企画。
・令和元年より、各地で能の講座「能meets」を展開。



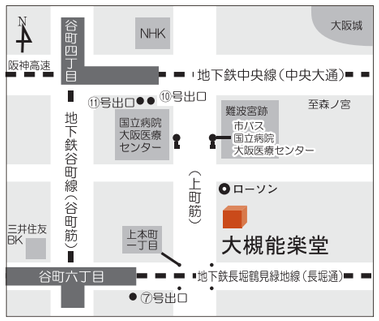
全席指定公演の区分
S席 A席 B席

チケット料金	全席指定席
S席	8,000円
A席	7,000円
B席	5,000円
U22 (22歳以下)※	3,000円 (B席のみ)

※当日年齢の分かるものをお持ちください。
各席当日券は500円追加となります。

チケット発売中

大槻能楽堂へのアクセス



○地下鉄「谷町四丁目」下車、１０番出口を出て南へ約300m。
(１１番出口にエレベーター有り)
または「谷町六丁目」下車、7番出口を出て約350m。
(7番出口にエレベーター有り)
○市バス「国立病院」下車南へすぐ、
※大阪駅前から62系統「住吉車庫前」行乗車。
※「あべの橋」(天王寺)から62系統「大阪駅前」行乗車

チケット申込・お問い合わせ

■ 電話予約 090-7345-0217 ■ FAX予約 06-6876-1250
お名前・席種(S・A・B)・枚数・ご住所・お電話番号をご記入ください。
■ＷＥＢ予約 右のQRコードを読込んでください。
■ メール予約 hayashimoto@dainokai.com(大の会)
お名前・席種(S・A・B)・枚数・ご住所・お電話番号をご記入ください。
公式ホームページ http://dainokai.com 大の会 検索
▲申し込みフォーム

主 催 大の会 林本 大

撮影 / 衛藤キヨコ デザイン / 大矢礼子